

苫前町議会

2010

議会報発行特別委員会

議会だより

4
No.79

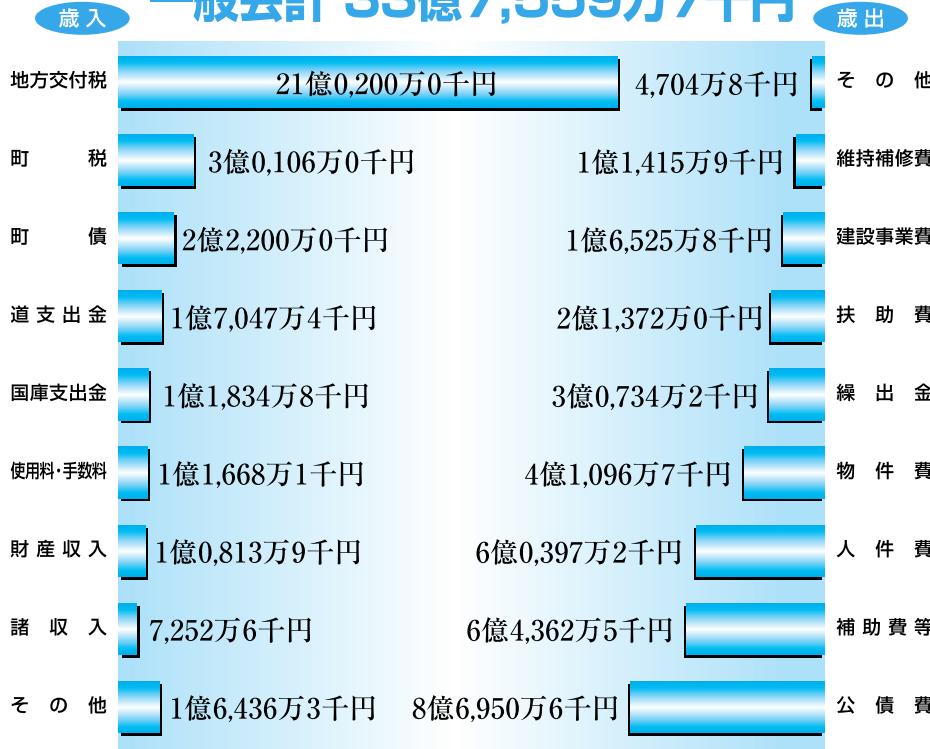
苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

委員長 猫島 優
副委員長 西 大志
委員 青木 幸隆
渡部 一男
小倉 哲
田沢 收

平成22年度予算

総額48億6,893万9千円を可決!

一般会計 33億7,559万7千円



平成二十二年度第一回定例会は三月八日招集され、会期を十七日までの十日間と決め、開会初日は報告二件、条例一件、並びに平成二十一年度各会計補正予算八件について、原案のとおり可決した。翌三月九日は、北海道市町村退職手当組合等の規約変更三件及び諮問、同意各一件を承認した。続いて平成二十二年度町政執行方針が行われた。三月十日は、新年度の関連案件説明のあと、十一日から十五日までを議案精査のため、休会として十六日午前十時に再開し、四名の議員が一般質問を行った。引き続き予算特別委員会を開催し、平成二十二年度各会計予算を審議し、一般会計予算のほか国保、老人保健、介護保険、簡易水道、下水道事業、風力発電事業の特別会計を可決し、閉会した。

◆特別会計

国民健康保険特別会計	5億5,381万5千円	簡易水道事業特別会計	1億6,890万5千円
老人保健特別会計	64万1千円	下水道事業特別会計	2億8,898万2千円
介護保険特別会計	3億8,096万7千円	風力発電事業特別会計	5,215万1千円
後期高齢者医療特別会計	4,788万1千円	総額	14億9,334万2千円

【主な議案】

- 株式会社苫前町振興公社財務諸表について報告
- 苫前町教育委員会事務事業の点検及び評価について報告
- 苫前町老人福祉センター設置条例を廃止する条例について
- 留萌支庁管内公平委員会委員の選任について

花村 春光氏（羽幌町）
人権擁護委員の推薦について諮問

竹橋 隆至氏（苫前）

- 苫前町若者交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 苫前町保育料徴収条例の一部改正

- 苫前町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

- 指定管理者の指定

ななかまどの館

有限会社大川商店

生きがいデイサービスセンター

社会福祉法人苫前幸寿会

若者交流センター

苫前商業高等学校後援会

- 平成二十二年度一般会計補正予算

緊急雇用創出推進事業補助金（森林整備促進事業分）

五九八万六千円を追加

臨時議会

平成22年
2月16日
開催

- 一般会計補正予算
- 第十三回北海道子ども会かるた大会出場経費補助金
- 十三万八千円を追加

平成二十一年度補正予算

単位：千円

平成21年度補正予算一覧

会計名	補正額	補正後予算額
一般会計	122,361	3,982,957
国民健康保険特別会計	△ 59,344	558,767
老人保健特別会計	3,555	6,734
介護保険特別会計	△ 18,587	393,870
後期高齢者医療特別会計	△ 8,283	45,882
簡易水道事業特別会計	△ 2,808	262,006
下水道事業特別会計	240	297,650
風力発電事業特別会計	△ 1,607	58,415

数を購入し、入札執行により、多額の執行残が出た。校務用パソコンについても、入札による執行残が生じたものである。

答 泉 社会教育課長

前回、平成十一年度に実施した実績で予算を計上したが、安価で事業実施ができたためによるものである。

答 加藤建設課長

予算計上時と実稼動時の燃油の差額があったため。流雪溝については監視室移転の際、点検業務ができたこと、ミキサ一点検は発注の際に組まれたため減額となった。

質 間宮議員

民有林造林事業、除間伐事業の補助金が大幅に減額されている。予定した事業の進捗は、どうであったのか。

答 平井農林水産係長

受託側の森林組合の職員が辞職し、体制が整わず、事業の消化ができなかった。

質 阿部議員

老人福祉センターの解体跡地の活用について考えはあるのか。役場車庫オーバースライダー工事で事故が起きたが、安全対策等の指導はどうなっているか。ふわたとのテレビ共聴設備取替えについて、何台のテレビがあり、どんな工事なのか。

質 田沢議員

嘱託職員の退職により、人員の補充がなされていないが、補充しなかった理由は何か。水道使用料収入の減額が大きい。給水人口の減とされたが、給水人口はどれほど減ったのか。きめ細かな交付金の予算計上科目について説明願う。

房改修の必要性を説明願う。苦前中学校のグラウンド整備について、今までどんな対策をとってきたか。

答 山田総務財政課長

老人福祉センター解体後の跡地活用については、今現在、具体的な計画はない。

答 加藤建設課長

単純なミスによる事故で、町内業者には建設協会を通じて事故防止の徹底指導をお願いした。苦前中学校グラウンドは、風を防げるよう植樹などしてきた。効果が出るまでは、土を補充することと対応したい。

答 平井企画振興課長

ふわたには二十五台のテレビがある。今回は、共聴設備にBSアンテナ、ブースター、分配機などを取り替えるものである。ホワイトビーチの冷暖房については、経年劣化により稼働中に不具合が生じ、利用者や観光客からの要望があり改修する。

質 林 議員

留萌地域活性化協議会設立負担金に関連して、二次医療救急負担について、示されている数字はどこから確認を得たのか。一回の搬送につき、いくらの設定にしているのか。今後、恒久的に続くのか。

答 山田総務財政課長

同じく行政システムの共同化の予算の具体的な説明を願う。

答 小丹保町民課長

この数字は留萌市の方から確認している。一回いくらという算出ではなく、病院群の輪番制病院運営補助金を基に算出している。恒久的に支出が出てくる。

質 西 議員
新型インフルエンザ接種費用補助は、希望者が少なく、減額となっているが、どう捉えているのか。保健師の任用を予定し、実際は任用しなかったが、予定した事業や業務を行えたのか。

答 小丹保町民課長

新型インフルエンザ接種は、四〇〇名の推計で実施し、二月末実績で一〇一名。回覧板等で広報をしたが一人でも多くの方に接種していただきたかった。

保健師は、特定高齢者の人数が少なかったため、現体制で、事業実施が可能であった。

質 猫島議員

消防費で苦前支署の減額、古丹別支署の増額について、特異的な事由が生じたのか。

答 山田総務財政課長

両支署間での職員の異動によるもので、苦前支署は五人の予定が四人、古丹別支署は、九人の予定が十人になったためである。

質 青木議員

経済危機対策交付金で、購入した学校用のデジタルテレビ、校務用パソコンが大幅に減額されているが、内容の説明願う。

郷土資料館燻蒸処理も同様、大幅な減額であるが要因は何か。道路除排雪、流雪溝管理業務の減額の要因は何か。

答 白府管理課長

デジタルテレビは、国の標準事業費ベースで計画した。予定の台

福祉 教育

質 問

救急カード制度の 確立予定について



猫島 議員

高齢化が進んでいる昨今、独り暮らしの高齢者や持病のある高齢者が万が一の緊急時に救急隊員が駆けつけた際、血液型、服用薬、かかりつけ病院、連絡先などがすぐわかる「救急カード」を作成し、透明ケース等に入れて冷蔵庫に保管するというようなことの制度化を検討してはどうか。

答 弁 森 町長



「救急カード」は、古丹別老人クラブ幸楽会が昨年、「見守り情報」として整備し、冷蔵庫への保管を始めた。今年は力屋町内会も取り組みを始めた。

町としては平成二十二年度予算の「老人クラブ連合会運営補助金」に、プラスチックケースの費用として十二万五千円を計上した。

ただ、個人情報として取り扱いに慎重を期し、記録内容の更新を怠りなくしなければならず、町としても普及が進むよう支援していきたい。

学力・学習状況調査と 今後について



渡部 議員

一、学力調査の公表、将来の学校統合は。

①小中学校の学力。学習状況調査と今後について、本町の結果は全道平均以下と聞くが、その実態は。結果を公表しないのか。
②学校の指導のあり方や、総合的な学習不足が低下の原因とも考えられる。遊びの減少で忍耐力不足や朝食を摂らない等も影響しているのでは。学力向上対策として家庭、地域、学校の役

割についての考えは。

③保護者の生活所得差が小中学生の学力に影響ありと聞くが本町の実態は。

④少子化による小規模クラスは学力低下を招かないか。近い将来、学校統合など考えているか。

⑤文部科学省は新年度から抽出調査に変更するが、本町の学力調査はどう取り扱うのか。

二、本町義務教育機関における国歌斉唱、国旗の掲揚と、その指導方法は。

答 弁 伊藤教育長



①本町の結果は、その年により全国平均を大きく上回った教科もあれば全道平均を下回った教科もあるが、おしなべて留萌管内では上位に、全道でも上位にある。公表の内容、仕方を検討し、保護者や地域住民への説明責任を果たしていきたい。

②確かな学力を育むため、家庭での生活習慣の定着など学校、家庭との連携を図りながら取り

組んで参りたい。

③所得格差による学力差は、本町は調査対象でないため実態を把握していない。しかし、本の読み聞かせやニュースを話題にする家庭の子は、学力が向上している。基礎基本を徹底して学ぶ教育を進めたい。

④児童生徒数は年々減少傾向にあり、今後はどの程度の学級人数が理想で有効なのかを研究していきたい。一部の部活動は学校単位では維持できない状況にあることから学校現場と協議、生徒の選択肢を狭めないよう議論を深めていく。地域に根ざした義務教育、廃校による地域コミュニティの崩壊が心配されるが、少子化の傾向は避けられない状況であることから、児童・生徒の状況や保護者・学校関係者などの意向を的確に把握し地域住民の声を聞きながら、長期的な展望に立った総合的な教育のあり方について検討していく。

⑤学力調査は、今後の教育行政を推進するための貴重なデータを得る可能性があること、また学力をつぶさに把握、改善につなげていくことなどから、町内すべての学校が参加する。

道路整備 見守り

一般

二 本町においては、各学校の教育課程に位置づけ、国旗・国歌の意義を理解し、尊重する態度を育て、国歌は式の中で実際に歌唱するよう指導しているほか、国旗掲揚、国歌斉唱の起立は、校長会、教頭会を通じて適切に実施するよう求めている。

苦前厚生クリニックへの 財政負担について



阿部 議員

苦前厚生クリニックの、運営赤字負担は町財政の悪化を進行させる大きな要因となっている。これまでの交渉をみても厚生連にこれ以上の譲歩はなく、町長は、厚生連を頼りにすることで医師の確保が万全であるという。

医師不足の現在、住民に安心を与える言葉であるが、一方民間の病院として経営上、医師の確保は最大限の努力をするものと考ええる。わが町に適した診療所を求めて選択肢を広げるよう検

討すべきだ。
町民が安心と希望を持って暮らせるよう求める。



答弁 森 町長

本町の医療安定に貢献している厚生連は、本町との良き関係にある。厚生連には医師確保や徹底した経費節減、経営改善と努力することを申し出ている。

民間を組み入れた事業であるが、医療制度の変化及び今後の見通しが分からない。しかし、道に財政等の支援を要請していくとともに、議会の医療対策特別委員会にても議論してもらいたい。

町有地の利用計画・ 町道舗装工事について



小倉 議員

一、国道二三二号線の取り付け道路から北昭和の旧川村宅までの町道舗装について、地域から要望書が提出されているが、その後どうなっているのか。
二、港団地解体後の跡地利用をどう考えているのか。

答弁 森 町長

一、指摘のあった道路は、延長約九〇メートル、幅員三、四メートルの未舗装道路であるが、大型車両等の通行増により国庫補助事業での改良を考えていたが、用地買収などで事業費が高額となることから、敷砂利による路面補修や路面修正あるいは側溝清掃などを実施し、急場をしのいでいるが、従来の補助事業による実施は厳しく、基準にこだわらない地方単独事業や交付金事業のような新たな道路整備事業が創設される可能性

もあることから、関係地先とも協議しながら継続的に検討していきたい。
二、港団地は昭和四十八年に建設されたが、老朽化が激しく、昨年解体した。整地された跡地は、漁協管理者が国の承認を得て、漁村再開発施設用地（漁民住宅用地）という用途で漁港施設用地等利用計画が策定されており、早急に漁協管理者や漁協とも相談しながら、漁業活動に供される用地として協議を進めていきたい。



委員会レポート

全員協議会

平成22年
1月19日
開催

①留萌地域活性化事業計画（原案）について
平成二十二年度から二十六年

度までの事業計画（原案）の説明

②古丹別保育所の入所定員の変更について
現行六十名から四十五名へ変更

③留萌中部広域火葬場整備基本構想について
平成二十二年度基本設計及び

実施設計
平成二十三年年度建設工事

平成二十四年度供用開始

④指定管理者の指定について
苦前町ななかまなどの館

公券による選定
苦前町いなぎがいデイサービス

⑤苦前町若者交流センター
苦前町地上デジタル放送受信

機設置等補助事業について
平成二十三年七月からの地上

デジタル放送移行に伴い、次の要件を満たす者へ助成する。

①苦前町民
②町民税非課税世帯
③町税及び使用料等の滞納がないこと

④指定管理者の指定について
詳細については企画振興課へ

⑤苦前町地上デジタル放送受信機設置等補助事業について
平成二十三年七月からの地上

デジタル放送移行に伴い、次の要件を満たす者へ助成する。

①苦前町民
②町民税非課税世帯
③町税及び使用料等の滞納がないこと

⑥九重・三溪地区地域情報基盤整備事業について
事業費 四、八〇〇万円

⑦留萌地域活性化協議会事業計画について
留萌広域行政組合解散に伴い

留萌地域活性化協議会を設立。

⑧古丹別歯科診療所レセプトコンピュータの更新について
導入機器 歯科用総合コン

ピューターシステム（ハード及びソフト）
費用 三〇四万五千元

⑨留萌中部森林組合への支援について
組合運営が継続できる環境支

援整備の支援として、経営補助金を助成する。

⑩苦前町耐震改修促進計画の策定について
地震マップ等の作成により、公

の施設や避難場所を明示する。事業費 三八三万三千元

⑪町道除排雪事業の見直しについて
地域活力基盤創造交付金の交

付に伴い事業費及び作業内容の見直しを行う。

⑫地域活性化・経済危機対策臨時交付金について
国の景気対策の一環として、古

丹別地区地域集会所（旧児童会館）解体等整備事業他十八事業を実施。

事業費二億四、〇七九万九千元（交付金一億九、四三四万八千元）

⑬留萌厚生クリニックについて
遊休している二階部分の活用

案について説明。
①小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（多床室）

②小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（ユニット型）
③認知症対応型共同生活介護（グループホーム）定員十八名（ユニット）

いずれにしても介護保険料が月額五〇〇円から七〇〇円増額となる。

基金配分額 七、二〇〇万円
苦前町執行可能上限額 一、七五二万円

⑬留萌厚生クリニックについて
遊休している二階部分の活用案について説明。

①小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（多床室）

②小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（ユニット型）

③認知症対応型共同生活介護（グループホーム）定員十八名（ユニット）

いずれにしても介護保険料が月額五〇〇円から七〇〇円増額となる。

④苦前町教育委員会事務事業の点検及び評価について
平成二十年度の対象事業につ

いて、点検及び評価を行った。

⑤平成二十二年年度羽幌町外2町村衛生施設組合負担金について
総額 一億五、〇八一万円

⑥苦前町保育料徴収条例の一部改正について
徴収の階層区分の細分化。現

行の八階層から十七階層へ。
⑦平成二十二年年度下水道事業について
工事費 一億二、三六〇万円

委託費 二四二万円
事務費 九〇三万五千元

⑧平成二十二年年度古丹別川北地区水道管移設事業について
道道の改修工事により補償

費により水道管の移設工事を行う。
工事費 六八一万九千元

⑨北留萌消防組合予算について
古丹別支署一名増員により、

総額一億七、〇三七万七千円を計上。

⑩役場庁舎ボイラー等取替工事について

⑪留萌厚生クリニックについて
遊休している二階部分の活用案について説明。

⑫小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（多床室）
⑬小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（ユニット型）
⑭認知症対応型共同生活介護（グループホーム）定員十八名（ユニット）

ボイラー及び自動制御機器などの経年劣化のため取替工事を行う。
事業費 一、四二五万五千元

⑪北留萌消防組合予算について
古丹別支署一名増員により、

総額一億七、〇三七万七千円を計上。

⑫小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（多床室）

⑬小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（ユニット型）

⑭認知症対応型共同生活介護（グループホーム）定員十八名（ユニット）

いずれにしても介護保険料が月額五〇〇円から七〇〇円増額となる。

⑮平成二十二年年度羽幌町外2町村衛生施設組合負担金について
総額 一億五、〇八一万円

⑯苦前町保育料徴収条例の一部改正について
徴収の階層区分の細分化。現

行の八階層から十七階層へ。
⑰平成二十二年年度下水道事業について
工事費 一億二、三六〇万円

委託費 二四二万円
事務費 九〇三万五千元

⑱平成二十二年年度古丹別川北地区水道管移設事業について
道道の改修工事により補償

費により水道管の移設工事を行う。
工事費 六八一万九千元

⑲北留萌消防組合予算について
古丹別支署一名増員により、

総額一億七、〇三七万七千円を計上。

⑳役場庁舎ボイラー等取替工事について

㉑留萌厚生クリニックについて
遊休している二階部分の活用案について説明。

㉒小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（多床室）
㉓小規模介護老人福祉施設（特養ホーム）定員十八名（ユニット型）
㉔認知症対応型共同生活介護（グループホーム）定員十八名（ユニット）

いずれにしても介護保険料が月額五〇〇円から七〇〇円増額となる。

特集!

地域活性化・きめ細かな臨時交付金

総事業費一億二、九六七万一千円
(うち交付金八、七七九万一千円)

地域活性化・きめ細かな臨時交付金は、「明日への安心と成長のための臨時経済対策」(平成二十二年十二月八日閣議決定)において、「電線の地中化、都市部の緑化など地方公共団体によるきめ細かなインフラ整備等を支援する」とされたことを踏まえ、平成二十一年度第二次補正予算において創設され、危険な橋梁の補修、森林における路網整備などの本緊急経済対策の趣旨に添ったきめ細かなインフラ整備を用途としている。

- ・役場車庫オーバースライダ―取替工事 四一―万六千円
- ・牧場職員住宅浴室・給湯設備等改修工事 三四四万八千円
- ・とままえ温泉ふわっと脱衣棚改修工事 七〇万九千円
- ・とままえ温泉ふわっと給湯設備改修工事 五〇六万七千円
- ・とままえ温泉ふわっとテレビ共聴設備取替工事 一八五万九千円
- ・とままえ温泉ふわっと非常用照明蓄電池取替工事 二〇〇万円
- ・ななかまどの館宿泊棟カーペット張替工事 六一万一千円



・ななかまどの館屋根改修工事

五三二万円

- ・ななかまどの館レストラン床改修工事 八二万四千円
- ・ななかまどの館地上デジタル放送波対応アンテナ等設置工事 七二万五千円
- ・ホワイトビーチ管理棟屋根改修工事 一四四万四千円
- ・ホワイトビーチ管理棟ココカピウ冷暖房改修工事 二五〇万六千円
- ・道路照明新設・取替等工事 四三九万二千円
- ・町道工業団地二号線道路拡幅工事 五一七万三千円
- ・町道香川四線道路防雪柵設置工事 一、三四五万八千円
- ・八号沢河岸補修工事 二一三万二千円
- 町営住宅下水道接続工事
 - ・天竜団地木造二階建一棟二戸タイプ六棟 八五一万四千円
 - ・天竜団地耐火構造二階建一棟四戸タイプ一棟 二八九万八千円
 - ・川添団地耐火構造二階建一棟四戸タイプ二棟 五七九万六千円
- 町営住宅屋根等改修工事
 - ・北斗団地木造平屋建一棟二戸タイプ四棟 一、八〇六万円



- ・はまなす団地簡易耐火構造平屋建一棟四戸タイプ一棟 二七七万五千円
- ・川添団地簡易構造二階建一棟四戸タイプ一棟 二二万五千円

- 教員住宅改修工事
 - ・古丹別地区一棟屋根改修 一〇五万七千円
 - ・苦前地区二棟浴室改修 二二七万五千円
 - ・古丹別地区一棟外壁改修・内部改修 二二八万円
- 小学校遊具設置工事
 - ・カサ型登り棒二基 九八万二千円

- ・中型滑り台二基 一六四万三千円
- ・古丹別小学校前庭・駐車場補修工事(舗装面積五五〇㎡) 一五九万六千円
- 中学校グラウンド改修工事
 - ・苦前中学校クレ―舗装 二八六万七千円
 - ・古丹別中学校クレ―舗装 三一六万五千円
 - ・公民館ロビー絨毯張替工事 七三万五千円
 - ・公民館講堂音響卓取替工事 一六〇万二千円
 - ・三角点スキー場監視小屋及びリフト機械庫改修工事 一〇七万三千円
 - ・B&G海洋センター照明器具取替工事 九一万五千円
 - ・スポーツセンター照明昇降装置修繕工事 四四万六千円
 - ・水道配水施設整備工事(減圧弁五基) 六七一万七千円
 - ・水道施設改修工事(接触器十五台他) 七十七万三千円
 - ・古丹別第一下水浄化センター環境整備工事(木柵一一九m他) 四一四万八千円

平成22年度 予算特別委員会

3月16日・17日に行われた予算特別委員会の質疑を要約してお知らせします。

委員長：阿部俊一 副委員長：間宮英明



主な予算質疑

質 林 委員

若者交流センター使用料は今後、町が徴収するが、未納は発生しないのか。

財政計画支援システム及び総合行政システム構築業務とホームページ運営管理システム構築業務、IT機器データ消去・リサイクル業務についての説明を願う。

答 白府管理課長

若者交流センターの使用料は町が徴収し、食料料は高校後援会が徴収することになるが、町と後援会が連携をとり納入促進したい。

答 山田総務財政課長

地方公会計制度の改革により、財務書類の作成と公表が求められており、新地方公会計制度に対応するためのシステム購入である。

総合行政システム構築業務はIT関連機器、システム賃借費用と保守費用になる。ホームページ管理運営システム構築業務はこれまでのホームページ関連システムの更新を行うもの。データ消去については、ハードディスク内の情報を完全に消去しリサイクルするものである。

質 猫島委員

中山間地域直接支払制度について、第三期を迎えるが苦前町として捉えている事業内容はどのようなものか。

答 伊藤農林水産課長

中山間地域直接支払等に関して、第二期が終了し第三期については国の方針や要綱等がまだ決まっていない。

質 間宮委員

民有林造林事業全体の事業はいくらか。留萌中部森林組合運営補助金一〇〇万円の根拠は。町有林人工造林地除伐工事に、補助金はないのか。

答 伊藤農林水産課長

民有林造林事業は総体事業で百七十六万円になる。森林組合運営補助金は、森林組合存続等のため運営費の補助が主な根拠である。

質 間宮委員

この予算をもって森林組合がよくなるような事業が組めるのか不安である。我が町も、山もよくなるような展開を望むが。

答 伊藤農林水産課長

今年度は、産業常任委員会で見察なども行い、町有林、民有林の状況把握、整備に努めたい。

質 西委員

乳幼児に対するブックスター

トがどう展開されるのか。産まれて初めての本を提供するなど方法はどうか。

過疎法の期限を迎え、現行法との対比、予定している起債には対応しているのか。

「ふわっと」においての、町で生産された特産品販売について、どう行動していくのか。

答 泉 社会教育課長

乳幼児健診の際に図書司書が本を紹介し、長期の貸し出しを予定。本の提供は検討したい。

答 平井企画振興課長

現行と同じく起債できる。新規のメニューも盛り込まれ、しっかりと分析し計画する。

ふわっとを運営している大新東により物産展などを検討、産業団体などと連携をとり検討を重ねる。

質 西委員

子どもたちをまちづくりに参加させ、環境施策を充実させた事業展開が必要ではないか。

社会科副読本の改訂の際にも当町の環境に対する取り組みに触れてはどうか。

答 泉 社会教育課長

風車などを見て触れて、感性を育むまちづくりを子どもたちに行っていくたい。

答 伊藤教育長

編集委員会が立ち上がった際に各関係機関と連携をとるよう指導していきたい。

質 渡部委員

生徒の輸送について苦前、古丹別、小学校、中学校との予算分けについて説明願う。

答 白府管理課長

苦前は直営バスを使用し個人へ委託している。古丹別は全て含めての委託で、小学校、中学校と予算の区分けをしている。

質 小倉委員

エビ籠オーナーは今年度どのような行事になるのか。

答 伊藤農林水産課長

マスコミによるPR事業、販路拡大を目指し都市部と交流など風車まつりに合わせ、開催する。

質 青木委員

小中学校でのコンピュータ賃借の予定台数は何台か。金額の差異など見られるが説明願う。

答 白府管理課長

小学校は四十八台、中学校は四十九台で予定している。既存リース物件との兼ね合い、予算編成において新しい機種など、違いがあるため。

質 田沢委員

IT機器のデータ消去・リサイクルについて、対象機器を売却する考えはなかったか。

答 山田総務財政課長

機器自体が、古く売却できないことが予想されるため、処理業者に下取りしてもらい、処分する方法を選択した。

質 林 委員

とど被害についてどういう手法をとっていくのか。

除排雪の業務委託の増額について資料を出して説明願う。

答 伊藤農林水産課長

被害の多い海域へ出向き船上より狙撃し、駆除、追い払いをするものである。

答 加藤建設課長

道の建設部から「地域活力基盤創造交付金」と新たに創設された特別措置法により、除排雪事業を適切に執行するため、道の積算基準により増額となった。

質 林 委員

若者交流センターの利用未収金が生じている。町の指導監督の基で、委託者への指導は。

小中学校でコンピュータの新規貸借計画があるが使用可能な機器もあるのではないか、必要性を伺う。

答 白府管理課長

教育委員会は、口頭や文書にて納付の指導をしてきた。また、平成二十一年度までの未集金は後援会の責務。今後は町が対応。子どもたちが使用する機器は、同じ環境で教育させたい。古く

質 西 委員

耐震改修計画は道路も含むか。福祉有償移送サービス収入が減額だが利用も減る見込みか。今後の消防体制や維持につい

て協議する時期に来ているのではないか。

答 星 建設課長補佐

耐震改修促進計画は、道路は含まず、公共民間を問わず各建物対象である。

答 小丹保町民課長

利用する町民は横ばい、昨年度よりは数字は減額である。

答 山田総務財政課長

消防体制については、少ない経費で高い安心を与えるのが重要であり、今後も本町にふさわしい体制でいきたい。

質 田沢委員

流雪溝が稼動して十余年が経過している。監視室に設置の各機器類の更新計画について伺う。住宅リフォーム補助金について、下水道接続を促進するため、増額助成する考えはないか。

答 加藤建設課長

流雪溝の機器類は基本的に約十五年の耐用年数であるが、まだ使用可能で更新計画はない。平成二十二年は抜本的に下水道の普及促進の年であり、再度検討したいと考えている。

質 小倉委員

教育費に剣道用具一式とあるが、部活動で利用するものか。

答 白府管理課長

新学習指導要領により、中学校において武道が必修となり、授業の一環として位置づけられ

たものである。

質 田沢委員

庁舎周辺除雪業務委託三六万円の新規計上内訳について伺う。備品購入費のパソコン一〇台分は、年次計画で購入か。

答 山田総務財政課長

職員玄関前、庁舎前掲示場、庁舎裏玄関など、大型重機が入れない箇所の除雪を委託する。パソコン購入費は、平成十五年以前に購入した四十四台を四年の年次計画で購入するものである。

質 青木委員

総務費と教育費で各々、レーザープリンタの購入予定がある。予算で誤差が見られるが説明願う。

風車まつり実行委員会補助金二五〇万円の説明を願う。

答 白府管理課長

総務費の機種と教育費の機種が異なるが、対応可能であれば執行段階で安価なものに変えていきたい。

答 平井企画振興課長

風車まつりは、現在、実行委員会の意見を聞き、検討中であり、町民の皆様が楽しめるまつりにしたいと考えている。

総括質疑

質 西 委員

町長の任期最終年度はどこに重点をおいたのか。予算の大部分を国に依存している自治体であるから、国の動向に左右されるが、こんな時こそ思い切った考えでリーダーシップを発揮していただきたい。

答 森 町長

昨年の政権交代により、思い通りの予算とならなかったが、最低限の予算は確保出来たと考えている。すべてが思い切ったやり方ではないけない。安定的な町財政も大切で、ソフト面で充実を図っていきたい。

質 間宮委員

苦前町振興公社の解散は残念であった。厚生クリニクの運営や森林活用の重要性、消防行政の方向性など町長の積極的な方向性を示してほしい。

答 森 町長

ふわつとについては新指定管理者制度の中で将来に向けてどうあるべきか研究中である。厚生クリニクの二階部分の活用方法については、厚生連本部と折衝中である。

本町の林業施策については遅れていることは事実であり町費の投入も必要と考えている。

消防行政も将来的には一支署にする方向で検討していきたい。

編集雑感

二〇一〇年、年明けに町民劇「一九三九インディギルカ号」が公演された。笑いあり、涙ありの約一時間一〇分の公演であったが、町民が感動を受け、これからも続けてほしいとの声もあった。

また、バンクーバー冬季オリンピックが開催され、テレビの前での応援に力が入ったが、残念ながら金メダルには届かなかった。

政権交代して半年が経ち、政治と金の問題で民主党の支持率も下がっており、国政はこれからどうなるのだろうか。さて、入学シーズンを迎え、苦前町にも春の訪れが感じられる。新年度の目指す方向も決定され、皆さまがふるさと苦前町で安心して暮らしていけるよう頑張つてまいりたい。

(小倉 記)



安定しない風に一喜一憂!

第18回北海道凧あげ大会 第37回苫前町凧あげ大会



曇り空でときより晴れ間が差す中、第18回北海道凧あげ大会、第37回苫前町凧あげ大会が二月二十八日(日)とままえ温泉ふわっと付近を会場に開催、町内外から約二〇〇人の来場があり、賑わいの中終了した。

開会式では大会長の森町長の挨拶の後に、長年実行委員長を務めた竹橋隆至氏に感謝状が渡された。そして、古丹別小学校二年の清水将くんと同校二年の西志尚くんの選手宣誓が閉会した。

この日は、一定の風が吹く絶好の凧あげ日和の中、第一部の親子の部、小学生の部を中心とした部門の凧が一斉にあげられ、自分の好きなキャラクターなどが描かれた凧が大空を埋め尽くした。第二部では、中学生、高校一般、大凧などの部門が挑戦し、特に注目を集めたのは大凧の部。(有)無限樹の凧は一発で風をとらえ、大空に舞ったが、マリネビジョン協議会や商工会の凧は、うまく風に乗ることができなかった。

競技終了後は、「J」エロのべっちによるパントマイムやバルーンアート、食べる蛸の足の長さを競う「凧×タ」ゲーム、イベント通貨の抽選会やもちまきを楽しんでいた。表彰式では、友好市での桑名市(旧長島町)から桑名市長賞が設けられ、副賞として特産品である「ハマグリしるし」が渡された。

また、ふわっと前で行われた各団体による出店では、海産物やたこ焼き、ゆでとうきびなどの販売や味噌汁の無料配布などが実施され、買い物を楽しむ方がたくさん列を作っていた。



	最優秀賞	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	桑名市長賞	努力賞
親子の部	久野 茜 久野 光輝	河端 秀明 河端 怜拓	杉本 武春 杉本 優歌	佐藤 隆裕 佐藤 海音	蓮見 尚子 蓮見侑梨愛	清水 徹 清水 音寧	下田 美雪 下田ひより	竹橋 陽子 竹橋 光雅
小学1・2年生の部	杉本 大佑	赤塚 凌汰	落田 真矢	名畑 莉来	竹橋 稜雅	河端 美桜	茂木 亮	金子慎太郎
小学3・4年生の部	青柳沙弥香	西條 凌平	石井 涼菜	猫島 菜央	能戸菜緒佳	齊藤 未夢	西谷 美優	旭 三宝
小学5・6年生の部	檜谷 祥貴	川村 旬輝	井上 大輔	能登 隼輝	田中 稜太	北村 海翔	旭 一向	高橋 雄也
中学生の部	池上 森 川村 僚太 中村 春佳	岡田 郭豊 佐藤 翔太 成川 楓	青柳 康平	小野寺悠貴 三好彩文南 若狭 未来			工藤 勇望 清水理緒 横内 聡	
高校・一般の部	青柳 順子	米谷 養照	青柳 静子	大林道路(株) 留萌営業所			鳥羽由美子	
大凧の部	(有)無限樹	青柳 誘孝	苫前町商工会	(有)猪股石油店			留萌人権擁護 委員協議会	
連凧の部	大正琴 サークル	桑名ハマグリ チーム					越智 民丸	
特別賞	親子の部 會田 匡啓・會田 州哉							



三月十九日(金) 古丹別小学校
三月二十日(土) 古丹別小学校
三月二十五日(木) 苦前小学校
三月二十六日(金) 苦前保育園
古丹別保育所

町内各学校・保育所で 卒業式・卒園式

おめでとう!
活躍を期待します!

三月一日(月) 苦前商業高等学校
三月十二日(金) 苦前中学校
三月十三日(土) 古丹別中学校

町内の各学校・保育所で卒業式・卒園式が開催された。各学校の卒業式では、教室にて笑顔で振る舞っていた卒業生も、学校生活・行事の楽しかったこと、感動したこと、苦しかったこと、辛かったことなどが思い出され、涙の卒業となった。式に参加していた保護者の方々も小さかった我が子の成長に目頭をおさえる方も少なくなかった。

卒業証書が一人ひとりに手渡された後の式辞では、選択の際に後悔や辛いこともあると思うが、周りの人に相談し、自分で選択していくことで成長となる。一枚の卒業証書に様々な人の思いが詰まっている。常に感謝の気持ち、よい仲間、夢と希望をもつことがこれから重要なことなど、卒業生に激励の言葉が贈られた。

在校生の送辞では、学校生活・部活などでの指導や励ましなどから学んだこと、そしてこれからは先輩に負けないような上級生になる決意が述べられた。また、卒業生からの答辞では、達成感を味わった体育祭や学校祭、礼儀やマナーを学んだ部活動、学力だけでなく人間的な成長となった学校生活での成果をこれからの学校生活や人生に活かしていくとともに、成長のためいろいろな支援や相談に乗ってくれたことやちょっとしたことで反発したことがあったけど自分たちを産み、ここまで育ててくれた両親に感謝したいとの気持ちが述べられていた。

一方、保育所での卒園式では、一人ひとりに卒園証書を授与した後、お父さんやお母さんに証書を手渡ししていたが、元気よく笑顔で手渡す姿に涙があふれたり、思わず抱きしめてしまう親子もいた。園長先生からは、元気に笑顔であいさつができるように、失敗を恐れずにがんばること、思いやりをもってまわりをまもることができるように約束した後、在園児の送ることばや卒園児からのお別れのことばなどどうかぶ数々の思い出や元気なうたの発表に保護者も子どもの成長を改めて感じていたようである。



「広報とままえ」に皆様からの声を!

身近な珍しい出来事、珍品、奇品、おもしろい話、自分の体験談、趣味、作品などをお待ちしております。

さらに、広報誌に対する意見・要望などもお寄せくだされば幸いです。

また、広報誌に掲載されている画像がほしい(電子データによる配布のみ)などの希望にも応えていきたいと思っております。

お問い合わせ 企画振興課広報広聴係 TEL64-2212 FAX64-2142
E-mail koho@town.tomamae.lg.jp

